

20. DPP-4阻害薬の内臓脂肪炎症および脂肪肝に対する効果の検討

横浜市立大学 医学研究科 分子内分泌・糖尿病内科学
白川 純、寺内康夫

21. VaspinによるERストレス関連分子GRP78を介した2型糖尿病制御

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 腎・免疫・内分泌代謝内科
中司敦子、和田 淳、勅使川原早苗、村上和敏、神崎資子、寺見隆宏、井上謙太郎、片山晶博、横野博史

セッション8 16:34~17:16 座長：金藤秀明（大阪大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学）

22. WFS1遺伝子欠損マウスにおけるDPP-4阻害薬(ビルダグリブチン)の膵β細胞保護効果の検討

東北大学分子病態学分野・代謝疾患学分野・糖尿病代謝科¹、東北大学国際高等融合領域研究所²、日本大学医学部糖尿病代謝内科³
丹治泰裕¹、山口 賢^{1,2}、薄井正寛¹、富永 竜¹、近藤敬一¹、石垣 泰¹、片桐秀樹¹、岡 芳知¹、石原寿光³

23. 小胞体ストレス応答を介した膵β細胞における脂肪毒性メカニズムの解析

徳島大学疾患ゲノム研究センター生体機能分野¹、徳島大学大学院生体情報内科学²
倉橋清衛^{1,2}、伊藤大二¹、森 智子¹、村橋玲那¹、親泊美帆¹、松本俊夫²、親泊政一¹

24. ピオグリタゾンによる膵ラ氏島でのアドレノメデュリンの発現誘導と膵β細胞保護作用

山口大学大学院医学系研究科病態制御内科学
太田康晴、近藤 学、幡中雅行、田部勝也、山本将義、中林容子、谷澤幸生

休憩 17:16~17:30

特別講演 II 17:30~18:30 座長：植木浩二郎（東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科）

Effects of Protein Folding Homeostasis in the Endoplasmic Reticulum on Metabolic Control

David Ron M.D.

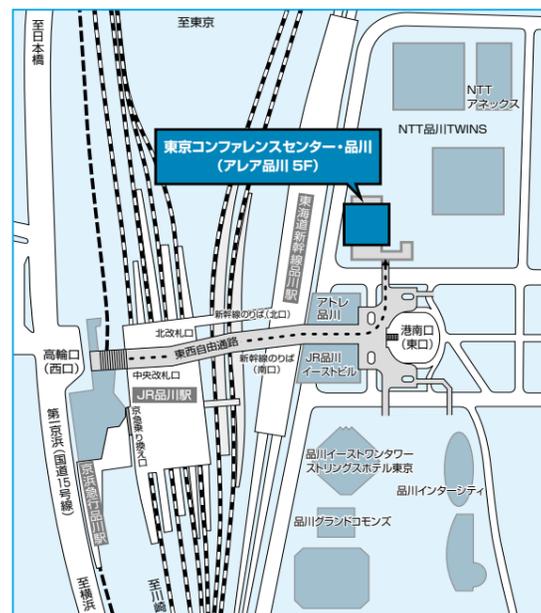
Professor of Medicine and Cell Biology, New York University & Wellcome Trust Principal Research Fellow, University of Cambridge

分子糖尿病学奨励賞、若手研究奨励賞 発表・授与 18:30~18:40

植木浩二郎（東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科）

閉会の辞 18:40~18:45

西川武志（熊本大学大学院生命科学研究部 糖尿病分子病態解析学）



●交通機関のご案内

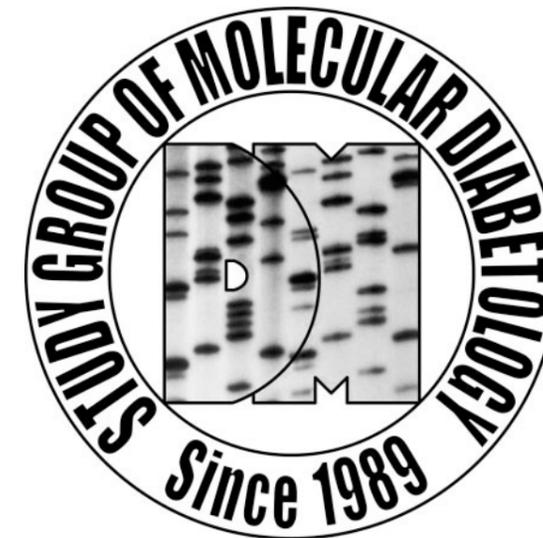
■鉄道をご利用の場合

- JR山手線、京浜東北線、東海道線、横須賀線、東海道新幹線、京浜急等で品川駅下車、港南口(東口)より徒歩2分
- 羽田空港から京浜急行で14分、品川駅港南口(東口)より徒歩2分
- 成田空港から成田エクスプレスで直通70分、品川駅港南口(東口)より徒歩2分

■お車をご利用の場合

- 首都高速1号羽田線芝浦ランプから約2km

第22回 分子糖尿病学シンポジウム プログラム



会 期 2010年12月4日(土)
9:00~18:45

会 場 東京コンファレンスセンター品川
〒108-0075 東京都港区港南1-9-36アレア品川5F
TEL:03-6717-7010

代表世話人 植木 浩二郎
(東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科)

共 催 分子糖尿病学研究会
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

後 援 日本糖尿病学会

ホームページ <http://www.wakayamanet.or.jp/mol-dm>

※会場内でのカメラ・ビデオによる撮影は厳禁です。ご協力お願い致します。

開会の辞 **09:00～09:05** **植木浩二郎**（東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科）

セッション1 **09:05～09:47** **座長：綿田裕孝**（順天堂大学医学部内科学・代謝内分泌学）

1. 高脂肪食動脈硬化モデルマウスにおける炎症性マクロファージ集団の解析
大阪市立大学大学院医学研究科代謝内分泌病態内科学
元山宏華、Elaine W Raines、絵本正憲、稲葉雅章
2. 高血糖状態における血管内皮細胞PDK1欠損の骨格筋内血管新生と血流量の変化に関わる検討
川崎医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科学¹、神戸大学大学院医学系研究科・糖尿病代謝・消化器・腎臓内科学²、国立国際医療研究センター研究所³
俵本和仁¹、柱本 満¹、蛭川英典¹、辰巳文則¹、濱本純子¹、下田将司¹、菅田有紀子¹、小谷 光¹、小川 渉²、春日雅人³、加来浩平¹、
3. PPARγ ChIP-seqとFAIRE (Formalin-assisted Isolation of Regulatory Elements)-seqによる脂肪細胞特異的制御領域のゲノムワイド解析
東京大学大学院医学系研究科 分子エネルギー代謝学¹、糖尿病・代謝内科²、統合的分子代謝疾患科学³、東京大学先端科学技術研究センター ゲノムサイエンス⁴、システム生物医学⁵、代謝医学分野⁶
脇 裕典^{1,2}、山内敏正^{2,3}、中村正裕²、若林賢一⁴、于 静²、藤田隆教⁴、廣瀬理沙²、岡田美紀²、岩部真人^{2,3}、堤 修一⁴、児玉龍彦⁵、油谷浩幸⁴、酒井寿郎⁶、門脇 孝²

セッション2 **09:47～10:29** **座長：藤本新平**（京都大学大学院医学研究科糖尿病・栄養内科学）

4. 2型糖尿病における膵ラ氏島アミロイド蛋白(IAPP)の細胞障害性についての検討
和歌山県立医科大学 臨床検査医学¹、和歌山県立医科大学 第一内科²
森田修平¹、坂頭節哉¹、鳥居佳典¹、山名暁子¹、古田浩人²、古田眞智¹、三家登喜夫¹
5. p140Cap (Cas associated protein)のインスリン分泌に対する検討
岐阜大学医学部 総合病態内科学
山内雅裕、梶田和男、石塚達夫
6. 2型糖尿病候補遺伝子KCNQ1の膵β細胞に及ぼす役割の検討
神戸大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌内科¹、神戸大学大学院保健学研究科²、京都大学大学院医学研究科 糖尿病・栄養内科学³、国立国際医療研究センター⁴
浅原俊一郎¹、江藤博昭²、照山杏子²、小柳真希¹、渋谷由紀¹、松田友和¹、長嶋一昭³、西村 渉⁴、安田和基⁴、清野 進¹、春日雅人⁴、木戸良明^{1,2}

セッション3 **10:29～11:11** **座長：小川 渉**（神戸大学大学院医学系研究科 糖尿病・代謝・内分泌内科学分野）

7. 肝特異的SREBP1cトランスジェニックマウスを用いた新規NASHモデルマウスに対する、エブレレノンの改善作用の検討
富山大学大学院医学薬学研究部 病態制御薬理学¹、病態病理学²
和田 努¹、宮下佑介¹、佐々木元大¹、石井陽子²、笹原正清²、恒枝宏史¹、笹岡利安¹
8. 肥満、脂肪肝およびNASH発症におけるプロリンイソメラーゼPin1の関与
広島大院・医歯薬¹、東京大学・医²、朝日生命成人病研究所³、東北大院・農⁴、中津祐介¹、張 君¹、迫田秀之²、櫛山暁史³、藤城 緑²、大野晴也¹、大久保博史¹、大谷裕一郎¹、鎌田英明¹、門脇 孝²、内田隆史⁴、浅野知一郎¹
9. 非アルコール性脂肪性肝炎の発症・進展における脂肪酸伸長酵素 Elovl6 の役割
筑波大学臨床医学系 内分泌代謝・糖尿病内科
松坂 賢、鳥野 仁

休憩 **11:11～11:30**

特別講演 I **11:30～12:30** **座長：古田浩人**（和歌山県立医科大学第一内科）

「小型魚類メダカを用いた肝臓研究」
仁科博史（東京医科歯科大学 難治疾患研究所 発生再生生物学分野 教授）

昼食 **12:30～13:30**

セッション4 **13:30～14:12** **座長：西川武志**（熊本大学大学院 生命科学研究部 糖尿病分子病態解析学）

10. ヒストン脱アセチル化酵素(HDAC)による肝臓での糖代謝調節機序の解析
熊本大学大学院生命科学研究部代謝内科学分野¹、(独)理化学研究所 基幹研究所 ケミカルゲノミクス研究グループ 吉田化学遺伝学研究室²、東京農業大学 生物産業学部食品科学科 食品微生物学研究室³、九州工業大学大学院生命体工学研究科⁴、古川 昇¹、大磯 洋¹、末藤美星¹、伊藤昭博²、古米亮平²、中川純一³、吉田 稔²、西野憲和⁴、荒木栄一¹
11. 転写共役因子CITED2はPGC-1αの活性調節を介して肝糖代謝を制御する
国立国際医療研究センター 糖尿病研究センター¹、分子代謝制御研究部²、神戸大学大学院医学研究科 糖尿病内分泌分野³ 金沢大学フロンティアサイエンス機構⁴
酒井真志人^{1,2}、松本道宏^{1,2}、高澤一男³、野口哲也³、細岡哲也³、稲垣健二郎^{1,2}、曹 永恒^{1,2}、辻村知子^{1,2}、井上 啓⁴、春日雅人¹
12. 小胞体ストレスは、アセチル化抑制を介して、STAT3依存性の肝糖新生系酵素遺伝子発現抑制を阻害する
金沢大学フロンティアサイエンス機構¹、国立国際医療センター研究所²
木村久美¹、松本道宏²、太田嗣人¹、春日雅人²、井上 啓¹

セッション5 **14:12～14:54** **座長：石原寿光**（日本大学医学部内科学系糖尿病代謝内科学分野）

13. M1マクロファージの浸潤と膵島炎症が2型糖尿病におけるβ細胞機能障害に重要な役割を果たす
東京大学大学院医学系研究科・循環器内科¹、東京大学大学院医学系研究科・糖尿病・代謝内科²
江口航生¹、真鍋一郎¹、大杉 満²、門脇 孝²、永井良三¹
14. 膵β細胞において遊離脂肪酸はJNKシグナルを介してオートファジーを活性化する
順天堂大学 内科学・代謝内分泌学¹、順天堂大学大学院・スポーツロジセンター²
小宮幸次¹、内田豊義¹、阿部浩子¹、河盛隆造²、藤谷与士夫¹、綿田裕孝¹
15. 膵α細胞から膵β細胞への分化転換の試み
大阪大学 医学系研究科 内分泌・代謝内科学
川嶋 聡、松岡孝昭、宮塚 健、山本かをる、金藤秀明

休憩 **14:54～15:10**

セッション6 **15:10～15:52** **座長：大澤春彦**（愛媛大学大学院医学系研究科分子遺伝制御内科学）

16. 糖尿病多発家系を対象とした全ゲノム連鎖解析による疾患感受性遺伝子の検索
京都大学 糖尿病・栄養内科
田中大祐、長嶋一昭、佐々木真弓、山田千積、船越生吾、龜友絹美代、小泉昭夫、稲垣暢也
17. 2型糖尿病感受性遺伝子であるレジスチンSNP-420Gが血中レジスチンを高めるためには、SNP-358Aが必要である
愛媛大学分子遺伝制御内科学¹、愛媛大学プロテオ医学研究センター²、愛媛大学統合医科学³、大阪大谷大学分子生物学⁴、筑波大学分子遺伝疫学⁵、松本大学健康栄養学科⁶、愛媛大学地域医療学⁷、愛媛大学加齢制御内科学⁸、白石病院糖尿病センター⁹
川村良一¹、大沼 裕^{1,2}、田原康玄^{2,3}、田中高志⁴、大橋 順⁵、西田 互¹、高田康徳¹、越智正昭¹、山田一哉⁶、川本龍一⁷、小原克彦^{2,8}、三木哲郎^{2,8}、牧野英一^{1,9}、大澤春彦^{1,2}
18. 遺伝的リスクスコア(Genetic risk score)は糖尿病診断時年齢やインスリン分泌能と関連する
富山大学医学部第一内科¹、済生会高岡病院内科²、社会保険高岡病院内科³、あさひ総合病院内科⁴、富山労災病院⁵、南砺市民病院内科⁶、桜井病院内科⁷、北陸中央病院内科⁸、糸魚川総合病院内科⁹、アメリティ月岡¹⁰、あおい病院¹¹、飛騨市民病院内科¹²、金沢大学第二内科¹³
岩田 実¹、加村 裕¹、朴木久恵¹、小橋親晃¹、石木 学¹、薄井 勲¹、山崎勝也¹、浦風雅春¹、戸辺一之¹、高野敦子²、村上史峰²、加藤弘巳³、浅水幸恵³、福島泰男⁴、赤川直次⁵、手丸理恵⁶、井窪万里子⁶、小田寛文⁷、宮元 進⁸、大家理恵⁸、樋口清博⁹、多喜和子¹⁰、五十嵐保文¹¹、沢崎茂樹¹²、八木邦公¹³

セッション7 **15:52～16:34** **座長：植木浩二郎**（東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科）

19. インスリン抵抗性の形成におけるケモカイン受容体CCR5の役割
金沢大学医薬保健研究域医学系恒常性制御学¹、金沢大学フロンティアサイエンス機構²、金沢大学附属病院薬剤部³、金沢大学がん研究所分子生体応答⁴
太田嗣人^{1,2}、北出紘規³、澤本一樹³、井上 啓²、篁 俊成¹、宮本謙一³、向田直史⁴、金子周一¹